資料４

山口県地域医療構想の推進及び
新たな地域医療構想の策定について

令和８年１１月　医療政策課

１　山口県地域医療構想の推進（報告）

（１）　令和８年度地域医療構想調整会議の開催状況

○　山口県地域医療構想の実現に向けた取組を推進するため、「地域医療構想調整会議」において、地域に必要な医療提供体制の構築に向けた協議を実施

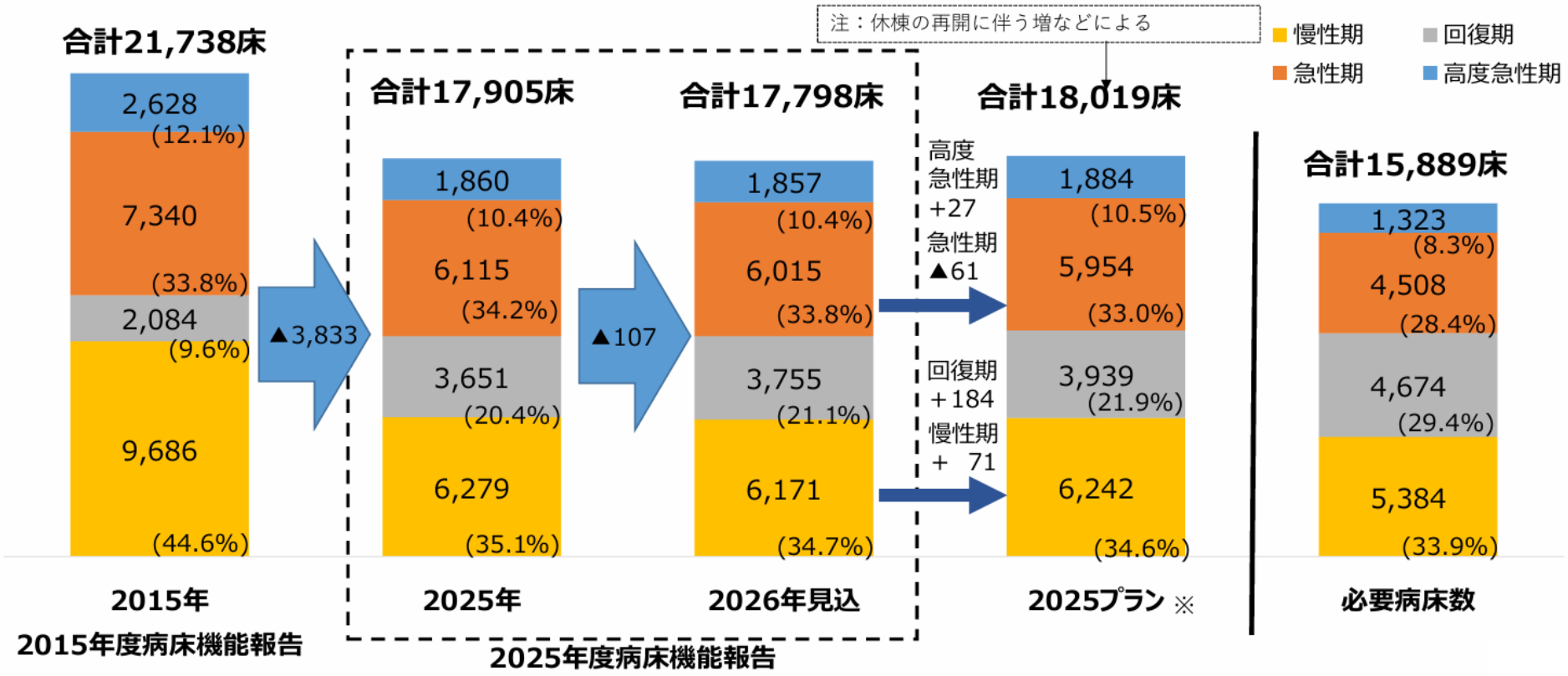
【開催状況】
８圏域において全体会議１６回、検討部会５回開催（R8.11.4現在）

【主な協議内容】

	協　　議	報　　告
【第１回】 R8.8月	・病床数適正化緊急支援事業 ・2025プランの変更	・R8年度調整会議の進め方 ・R7年度病床機能報告 ・R7かかりつけ医機能報告 ・新たな地域医療構想の策定
【第２回】 (書面) R8.10.22 ～10.28	・保健医療計画の中間評価・見直し（素案） ・病床数適正化緊急支援事業 ・2025プランの変更	・山口県外来医療計画に係る報告
【第３回】 R9.２月 ～３月	・保健医療計画の中間評価・見直し（最終案） ・新たな地域医療構想の策定 ・病床数適正化緊急支援事業 ・病床機能再編支援補助金 ・２０２５プランの変更	・令和８年度紹介受診重点医療機関の選定 ・山口県外来医療計画に係る報告

（2） 【山口県全体】地域医療構想の進捗状況の検証

○ 県全体でも必要病床数との差異は生じているが、各圏域で地域の実情を踏まえ、高度急性期・急性期機能の集約化や不足する回復期への転換が行われるなど、医療機能の分化・連携の取組が進んでいる。



※病床機能報告は病棟単位で報告されるが、2025プランは病床単位で病床機能を設定

（３） 病床数適正化緊急支援事業

○ 事業概要

【事業の目的】

効率的な医療提供体制の確保を図るため、医療需要の変化を踏まえた病床数の適正化を進める医療機関に対し、診療体制の変更等による職員の雇用等の様々な課題に際して生じる負担について支援を行う。

【対象医療機関：以下３類型のいずれかに該当する医療機関】

	病床削減時期	国事務連絡への回答要件
①	R7.12.16～R9. 3.31	不要
②	R6.12.17～R7. 9.30	**必要** R7.2.21付国事務連絡に基づき事業計画書を提出し削減意向を示し、削減したもの
③	R7. 8. 1～R7.12.15	**必要** R7.8.14付国事務連絡に基づき削減予定と報告し、削減したもの

【支給額】削減病床１床につき **4,104 千円** （休床の場合：**2,052 千円**）

○ 地域医療構想調整会議での協議

昨年度と同様、要件を満たす申請案件は、全て調整会議に諮り、地域医療提供体制に支障ないか協議
（精神科病床については、精神科病床適正化協議会に諮る）

○ スケジュール等

	医療機関→国の申請期限	県→国の提出期限	一般病床・療養病床に係る申請	（参　考）精神病床に係る申請
第１回	７月14日（火）	８月24日（月）	２８機関・６４２床	９機関・２５１床
第２回	９月30日（水）	10月30日（金）	３機関・２２床	１機関・１０床
第３回	11月30日（月）	12月28日（月）	（今後申請）	（今後申請）

○ **一般病床及び療養病床（現行の地域医療構想の対象）に係る申請案件一覧**

医療圏	申請回	医療機関名	補助対象	削減病床数	削減時期	削減理由	新興感染症に係る確保病床数
岩国	１回目	岩国みなみ病院	15床	急性期15床	R8.9	人材不足/資源集約	５床(削減対象外)
		はるなウィメンズクリニック	16床	急性期16床	R8.3	機能集約/人員再配置	無
		マサキ外科肛門科	5床	急性期5床	R7.3	効率化	無
	２回目	医療法人 錦病院	10床	急性期10床	R9.3	余剰病床の削減/人員再配置	５床(削減対象外)
柳井	１回目	周防大島町立大島病院	57床	慢性期57床	R9.3	患者数減/資源集約/機能再編	5床(削減対象外)
		周東総合病院	52床	急性期28床/回復期24床	R8.8	人材不足/人員再配置/効率化	30床(削減後の276床で確保を行う)
		光輝病院	32床	慢性期32床	R9.3	資源集約/効率化	無
		弘和クリニック	19床	慢性期19床	R8.3	機能再編	無
周南	１回目	徳山医師会病院	50床	回復期50床	R9.2	人材不足/機能転換	10床(削減対象外)
		中山医院	17床	急性期17床	R8.9	患者数減/資源集約/経営効率化	無
		光市立総合病院	11床	急性期11床	R8.3	人口動態を考慮した病床数の適正化	8床(削減後の199床で確保を行う)
山口・防府	１回目	おか整形外科病院	１床	慢性期1床	R9.1	人材不足	無
	２回目	村田外科胃腸科	4床	急性期4床	R9.3	人材不足/休床	無
宇部・小野田	１回目	シーサイド病院	48床	休床48床	R8.10	人材不足/人員再配置	無
		宇部中央病院	21床	急性期21床	R9.3	患者数減/人員再配置/経営効率化	10床(削減後の353床で確保を行う)
		セントヒル病院	14床	急性期11床/慢性期3床	R9.3	人材不足/人員再配置	9床(削減対象外)
		山口大学医学部附属病院	10床	急性期10床	R9.3	稼働率低下/経営効率化/人員適正化	13床(削減対象外)
		厚南セントヒル病院	８床	急性期４床/慢性期４床	R8.10	稼働率低下	2床(削減対象外)
		山口宇部医療センター	5床	急性期5床	R9.3	患者数減/稼働率低下/経営効率化	30床(削減対象外)
		小野田赤十字病院	1床	休床1床	R9.3	休床/機能転換	4床(削減対象外)
	２回目	宇部中央病院	8床	回復期8床	R9.3	救急・急性期医療へ選択集中/人員再配置効率化	10床(削減対象外)
下関	１回目	下関市立市民病院	54床	休床54床	R8.12	人材不足/経営効率化	26床(削減対象外)
		下関医療センター	37床	急性期37床	R8.9	人材不足	10床(削減後の238床で確保を行う)
		すみだ内科クリニック	13床	回復期13床	R8.10	人材不足/経営効率化	無
		織田クリニック	9床	休床9床	R8.11	人材不足/経営効率化	無
		すずらんレディースクリニック	2床	急性期2床	R8.10	機能転換	無
		佐々木整形外科・外科	9床	急性期9床	R8.1	患者数減/人材不足/機能分担	無
長門	１回目	斎木病院	3床	急性期1床/慢性期2床	R8.9	人材不足/経営効率化	1床(削減対象外)
萩	１回目	都志見病院	117床	慢性期59床/休床58床	R9.3	人材不足/患者数減/機能転換	2床(削減対象外)
		全眞会病院	4床	慢性期4床	R8.10	人材不足/人員再配置/患者数減	1床(削減対象外)
		花宮医院	12床	急性期12床	R7.3	人材不足	無

２　新たな地域医療構想の策定（協議）

令和8年度第1回圏域別地域医療構想調整会議における協議の状況

＜構想区域関係＞

○　構想区域を変更する予定はあるか。変更には他の圏域との調整が必要であるため、県全体で議論すべきでないか。（岩国、柳井、宇部・小野田、長門　等）

⇒　国が示すデータの分析を踏まえ、現状の医療機関間の役割分担や、患者の医療アクセスに十分配慮の上、関係者の意見を聴きながら検討。圏域間の調整は、必要に応じて開催する予定の合同での調整会議や医療審の意見を踏まえ、全県的な観点でも議論。

○　構想区域の設定等に関し、医師派遣をしている大学病院の意見を聴くことがあるか。（山口・防府　等）

⇒　将来の医師派遣の見通しは、新構想でも重視されているており、大学病院とも連携しながら検討

＜急性期拠点機能を担う医療機関の設定関係＞

○　急性期拠点機能の医療機関を構想区域で１つとするのは、現場感覚としては違和感あり。各医療機関が得意分野を生かし連携してきたことを踏まえ、その強みを生かした構想が必要。また、医療機関機能の設定に関し、診療科の維持を希望する場合、医師派遣について各医療機関から大学病院へ要望すべき。（山口・防府）

⇒　現在の連携体制や各医療機関の診療の強みを十分考慮し、ガイドラインと整合性を図りつつ、地域の実情を踏まえ検討。

○　急性期拠点機能の医療機関にしか救急搬送されないなどの支障は生じないか。（周南）

⇒　急性期拠点機能以外の医療機関が救急等の急性期医療を提供できないわけではない。急性期拠点機能と他の機能の医療機関の役割分担についても、今後、十分検討。

＜進め方＞

○　岩国圏域に関し、広島への日常的通院や高度医療の搬送実態に鑑み、広島の圏域の会議と調整があるか（岩国）

⇒　広島の圏域の議論の状況を踏まえ、圏域を越えた連携のあり方などを検討。※県をまたいだ構想区域は制度的に不可

○　ロードマップで示されたスケジュールは前後することがあるか。（長門、萩　等）

⇒　区域ごとに状況や議論の進捗に応じ前後することは予想されるが、地域の関係者の意見を聴きながら、十分に協議。

○　十分な議論と合意形成が進むよう、必要に応じて部会を開催し、客観的なデータの提示や論点整理、丁寧な説明・助言等を実施

○　新たな地域医療構想においても、引き続き各医療機関の強みを生かした医療が提供できるよう検討